

仙台市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画 令和3年度の実績

本計画が目指すまちの姿の実現に向け、「まちのデジタル化」と「行政のデジタル化」を進めています。ここでは、進行中の取組について、その一部をご紹介します。

まちのデジタル化

地域の特性や課題に応じた実証実験

- スマートフォン等を活用して、地域の情報共有に使われる回覧版の電子化の実証実験を行いました。
- 住民と町内会、行政とが常時つながり、きめ細かい情報発信や地域の見守り機能の強化を図ります。
- また、宮城地区において、令和3年6月～10月にかけて、水田センサー等を活用した深水管理栽培の実証実験を実施しました。
- ICTを活用し農作業の省力化、収益性の向上の実現を目指します。



回覧版の電子化についての勉強会

せんだい電子図書館

- 令和3年11月より、「せんだい電子図書館」の運用を開始しました。
- お持ちのパソコン・スマートフォン・タブレット端末などから、インターネットでいつでもどこでも電子書籍を借りることができ、図書館に足を運ばなくても、読書を楽しむことができるようになりました。



せんだい電子図書館ホームページ

子育て・教育に係る各種オンライン相談

- 令和3年4月よりのびすく（仙台市子育てふれあいプラザ等）にてオンライン個別相談を開始しました。
- 子育て・家庭・親子関係などの悩みを持つ方が気軽に相談できるよう、令和3年9月にSNSを活用した「せんだいみやぎ子ども・子育て相談」を開設しました。
- 令和3年11月に望まない妊娠等に関する悩みについて、保健師等が寄り添いながらご相談に応じる「せんだい妊娠ほっとライン」を開設しました。



仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく」ホームページ

デジタルで人と地域をつなぐオンライン観光等推進事業

- コロナ禍における新たな観光プロモーションとして令和3年9月より「デジタルで人と地域をつなぐオンライン観光等推進事業」を開始しました。
- 自宅にいながら東北の個性豊かな地域や人、バラエティに富んだ特産品など多彩な魅力をインターネットを通じて体験することができるオンラインツアーの造成支援を通じて、地場製品の消費拡大や、交流人口の拡大を目指します。



ウェブサイト「オンライン東北！」

仙台MaaS

- 令和3年10月より「仙台MaaS（マース）」の運用を開始しました。
- バス、地下鉄、タクシーの交通サービスをはじめとして、施設の入館料、飲食や日帰り入浴などのコンテンツのチケットを、スマートフォンやタブレットから簡単に購入することができます。



仙台MaaS

都の杜・仙台 ECサイト

- 「都の杜・仙台」は、地域製品のブランディングや販路開拓を目的に立ち上げた地域ブランドです。
- 令和3年8月にECサイトをリニューアルし、地域製品の販売を通じて、仙台の魅力域内外に発信しています。



都の杜・仙台 ECサイト

X-TECH(クロステック)イノベーション創出促進事業

- 地域産業の高度化に向けて、AIをはじめとしたICTと幅広い産業分野との掛け合わせによる新規事業創出支援「X-TECH」の取組を進めています。
- ヘルスケアの分野では、令和3年7月から3月にかけてオンラインで「ヘルステックコンソーシアム」を開催しました。
- 防災の分野では、令和3年9月より仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業 事業開発プログラム、事業化支援プログラムを実施しました。



仙台クロステックイノベーションプロジェクト ホームページ

グローバルラボ仙台コンソーシアム (GLS)

- 仙台市とフィンランド・オウル市とのネットワークを活用し、地域のIT産業振興を目的に設立されたコンソーシアムです。
- 仙台アプリコンテスト「DA-TE APPS!」（データアップス）の開催などを行っています。



「DA-TE APPS! 2022」

仙台IT業界研究2021

- 令和3年11月に、全国の学生や若者を対象に、仙台市内のIT業界や企業の魅力を伝えるイベント「仙台IT業界研究2021」を開催しました。
- 市内のIT企業の継続的な人材確保や、学生の地元定着を促進しています。



仙台IT業界研究2021

高齢者向けスマートフォン教室

- 令和3年9月から、高齢者の方などを対象に、デジタル機器やサービスにより親しんでもらうため、携帯電話会社と連携し、市内各所でスマートフォン教室を開催しています。
- 一部の講座で市HPやワクチン接種ポータルサイトの確認方法等を案内する独自プログラムを実施しています。



スマートフォン教室の実施イメージ

行政のデジタル化

電子申請サービスを活用した各種オンライン手続

- より便利に、より簡単に手続きが行えるよう、電子申請サービスを活用し、各種手続のオンライン化に取り組んでいます。
- 今後は、既存の電子申請システムになかった機能を備えた新たな電子申請システムの実証実験も予定しています。



みやぎ電子申請サービス

窓口でのキャッシュレス決済

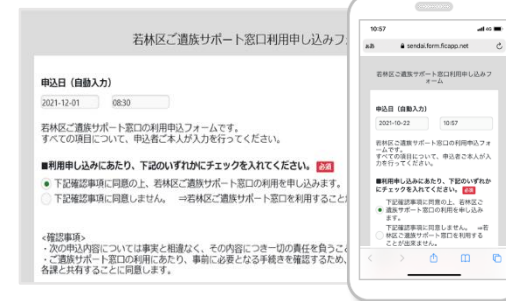
- 区役所等窓口での手数料等の支払いにて、キャッシュレス決済を導入しました。
- 青葉区戸籍住民課・税務会計課で令和3年12月より先行的に実施を開始しており、令和4年度中に全区で導入することを予定しています。



区役所窓口を設置したキャッシュレス決済端末

ご遺族サポート窓口

- ご遺族の負担軽減を図るため、死亡に伴う区役所での手続きについて、クラウドサービスやタブレット端末を活用し、一箇所ですべて受付・案内を行う「ご遺族サポート窓口」を若林区役所に開設（試行）しました。
- 若林区役所での試行結果を検証し、令和4年度以降、全ての区役所・総合支所に開設する予定です。



オンラインによる利用申し込みフォーム画面

仙台市AIチャットボット

- 令和3年10月より、会話形式による自動応答で24時間365日お問い合わせが可能なAIチャットボットのサービスを開始しました。
- 知りたい内容を専用画面で入力いただくと、チャットボットがお答えします。



仙台市総合コールセンター AIチャットボット 操作画面

RPAの活用

- RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは、パソコン上で行う操作を事前に登録し、一定のプログラムにより自動的に繰り返し処理をさせる仕組みです。
- サーバ型RPAを導入し、令和2年10月から順次庁内業務での運用を開始しています。令和3年12月末現在で、46業務でRPA化を実施し、累積8,395時間の削減効果がありました。



RPA導入のイメージ

業務改善プラットフォーム

- 業務アプリケーションを簡単に自作できるクラウドサービスを導入し、事務の正確性・迅速性の向上に役立てています。
- 庁内広報や担当課支援を実施し、利用業務は徐々に拡大しています。業務効率化により市民サービスの向上につながります。



業務改善プラットフォームの利用拡大に向けた庁内広報の様子

DX推進に向けた職員の意識改革

- ICTを活用した市民サービスの向上や業務の効率化を図るにあたり必要な知見、本市のデジタル化の推進への理解および庁内におけるデジタル技術の導入状況についての理解を深めるため、DXに資する人材の育成に取り組んでいます。
- 新たな知識の習得や、庁内におけるデジタル化の導入事例の共有などにより、DX推進に向けた職員の意識改革を進めています。



ICT利活用セミナーの様子

